

皆さん、おはようございます。いよいよ新年度が始まり、2年の皆さんには高校に入って初めて後輩ができますね。3年の皆さんにとっては、高校生活も残り一年足らずです。2年生の皆さんの中には、「もう1年が過ぎたのか」と思う人が多いのではないのでしょうか。3年生の皆さんの中には、「もう1年足らずか」と思う人が多いのでは無いかと思います。よく、「年を取ると1年が早く過ぎる」と言いますが、それは30歳、40歳の大人にだけ言えることでは無くて、小学生や中学生に比べると、高校生の時の方が早く時間が過ぎると感じる人が多いと思います。私はよく卒業間近の生徒に、「高校の3年間って短かったでしょ？」と聞くことがありますが、ほとんどの生徒が、はっとした顔をして、「そうですね！」と納得してくれます。

この時間の感覚の違いの原因は、人間の生物としての発達学的なものもあるかもしれませんが、もう一つ考えられるのは、学校での生活やイベントの密度だと思います。小学校だと、6年間で修学旅行が1回、生徒会役員や委員長になるのも6年生の1回だけ。中学受験も6年間で1回あるか無いか。でも、高校生は、3年間のうちに文系か理系かを決めたり、受験する大学も幾つも考えたりしなければなりません。勉強のスピードも中学校の時よりも速くなるし、クラブ活動も中学の時より練習試合や大会の数が多くなるクラブが多いのではないのでしょうか。

何を言いたいかと言うと、高校生はこれまでより、やらなければならない事が沢山あるのです。密度が高くなるのです。そのことを意識しないで、気が付いたら3年間が終わっていた、となってしまう生徒が時々います。本校の校訓、「晴耕雨読」というのは、今風に言うなら「文武両道」と言うように受け止めることもできるかと思いますが、元々の意味は、その日、その時にできることを行い、時間を無駄にしないという事だと思います。高校生活は本当に短いのです。一日一日を無駄にせず、その日、その時にできるベストな事を行って欲しいと思います。

もう一つ、お話しさせてください。皆さんが中学生の時、先輩がいたり、後輩がいたりしたわけですが、先輩と後輩、どちらが強く印象に残っているのでしょうか。多分、先輩の方が印象に残っている人が多いと思います。誰でも、先輩をお手本にするのですから、先輩を良く見ていて、先輩が印象に残っている人の方が多いと思うのです。(後輩をお手本にする人は少ないですね。)皆さんは、これから、後輩のお手本になります。立派なお手本になってもらいたいと思います。変に先輩風を吹かせる、上辺だけ作ったような先輩ではなく、しっかりとした芯のある先輩になって欲しいと思います。

もう一つ、耳にタコができていないかもしれませんが、感染症の予防には本当に気を付けてください。自分や家族の具合が悪いなど、少しでも新型コロナウイルス感染症が疑われるときは、登校を控えてください。

私は人を褒めるのが好きなので、体育館で始業式をしていけば、「皆さんの聞く態度は素晴らしいね！」と最後に言いたいところです。リモートでの始業式なので、それが言えないのは残念ですが、以上で講話を終わります。